



# 全国及び県学力・学習状況調査に臨む

## 児童生徒が持てる力を出し切るために！

本通信は、児童生徒の学ぶ力の育成に向け、組織的かつ計画的な取組を推進するに当たり、学力向上担当者の方に参考となる情報を発信するものです。今号では、全国及び県学力・学習状況調査【4月18日（火）実施】において、児童生徒が持てる力を出し切るための取組例を紹介します。

### 取組例①【年度当初】教職員間で目指す児童生徒の姿とその指標の捉え方を共有する。

「将来の夢や目標をもっている」という指標は、大人になって何になりたいかという夢だけでなく、「漢字マスター」になりたいという目標も入りますね。



「学校の授業時間以外に普段どれくらい勉強しているか」の勉強時間には、放課後や塾で勉強している時間を含めてもよいことを、子どもたちに伝えておきましょう。

### 取組例②【調査日前日まで】さまざまな場面で、目指す児童生徒の姿と調査の目的を伝える。

#### 場面例① 始業式で学力向上担当者が目指す児童生徒の姿を伝える



今年度、先生たちは**自分の考えを伝える力**と**粘り強く物事に取り組む力**をさらに付けていくような授業にしたいと考えています。

授業では、どのような姿が見られるとよいでしょうか。積極的に話し合い活動に参加したり、テストでは最後まであきらめずに取り組んだりすることが考えられますね。

#### 場面例② 学年や学級通信等で目指す児童生徒の姿と調査の目的を伝える

学年や学級通信等において、学力・学習状況調査に関する話題を取り上げることで、児童生徒だけでなく保護者に対しても目指す児童生徒の姿と調査の目的が伝わり、家庭からの支援が期待できます。

4月の学年通信で、月予定の欄に次の文章を入れてください！

**18日（火）には学力・学習状況調査があります。これまでに学習した内容が、どのくらい身に付いているかを確かめることができる大切な調査です。最後まで粘り強く力を出し切ろう！**

#### 場面例③ 授業で教科担当が調査の目的を伝える



なぜ、新しい学年になったばかりで調査があるのですか？

今の皆さんの力が分かるとともに、自分がどのくらい伸びたかが分かる調査です。**皆さんの得意なことや課題をはっきりさせる**ことで、良さをさらに伸ばしたり、課題を克服したりする授業を行うことができます。今の持てる力を出し切りましょう！

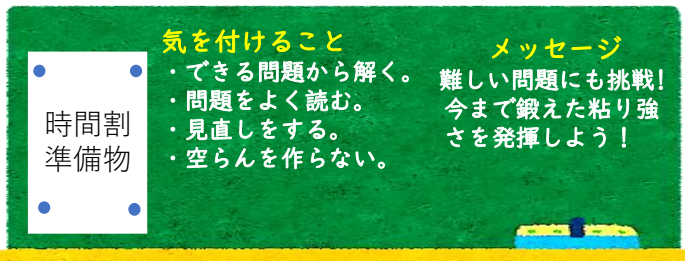
### 取組例③【調査日当日】児童生徒が力が出し切れる支援を行う。

ある野球選手が、「無理だと思われることに挑戦する方が、自分はやる気が出る。」と言い、優勝に貢献しましたね。難しい問題にも挑戦しましょう！

自分の考えを書くところは、できる限りでよいので、書けるところまで書きましょう！



声掛けのイメージ



板書のイメージ

- |   |  |   |
|---|--|---|
| <p><b>時間割準備物</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•</li> <li>•</li> <li>•</li> <li>•</li> </ul> | <p><b>気を付けること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• できる問題から解く。</li> <li>• 問題をよく読む。</li> <li>• 見直しをする。</li> <li>• 空らんを作らない。</li> </ul> | <p><b>メッセージ</b></p> <p>難しい問題にも挑戦！<br/>今まで鍛えた粘り強さを発揮しよう！</p> |
|---|--|---|



各調査の「実施の手引き」等を読み、調査の実施がスムーズに行えるようにしましょう。特に、全国調査では、オンラインによる児童生徒質問紙調査や中学校英語「話すこと」調査があります。端末の事前の準備や確認が必要なので、事前検証の情報を共有しながら、組織的に当日に向けて準備を行いましょ。